

「財産収支状況書」の書き方

財産収支状況書

令和2年5月11日

1 住所・氏名等

住所所在地	〇〇市△△町×番地	氏名称	〇〇株式会社 代表取締役 △△ ××
-------	-----------	-----	-----------------------

2 現在納付可能資金額

現金及び預貯金等	預貯金等の種類	預貯金等の額	納付可能金額	納付に充てられない事情
現金		80,000円	80,000円	<input type="checkbox"/> 運転資金 <input type="checkbox"/> 生活費 <input type="checkbox"/> その他 ( )
〇〇銀行 △△支店	普通	70,000円	0円	<input checked="" type="checkbox"/> 運転資金 <input type="checkbox"/> 生活費 <input type="checkbox"/> その他 ( )
××信用金庫 △△支店	当座	120,000円	0円	<input checked="" type="checkbox"/> 運転資金 <input type="checkbox"/> 生活費 <input type="checkbox"/> その他 ( )
株式会社〇〇上場株式50株	-	100,000円	100,000円	<input type="checkbox"/> 運転資金 <input type="checkbox"/> 生活費 <input type="checkbox"/> その他 ( )
現在納付可能資金額			180,000円	

3 今後の平均的な収入及び支出の見込金額(月額)

区分	見込金額
収入	
売上、給与、報酬	1,520,000円
その他 ( )	円
①収入合計	1,520,000円
支出	
仕入	760,000円
給与、役員給与	420,000円
経費 ( )	100,000円
食費 (扶養親族 人)	円
光熱水費	円
通信費	円
家賃等	70,000円
借入返済	95,000円
②支出合計	1,445,000円
③納付可能基準額 (①-②)	75,000円

4 直前1年間における各月の収入及び支出の状況

年月	①総収入金額	②総支出金額	③差額 (①-②)	備考
令和元年5月	1,520,000円	1,445,000円	75,000円	
令和元年6月	1,520,000円	1,445,000円	75,000円	
令和元年7月	1,520,000円	1,445,000円	75,000円	
令和元年8月	1,820,000円	1,445,000円	375,000円	車両の売却代金として30万円の臨時収入
令和元年9月	1,520,000円	1,445,000円	75,000円	
令和元年10月	1,520,000円	1,445,000円	75,000円	
令和元年11月	1,520,000円	1,445,000円	75,000円	
令和元年12月	1,520,000円	1,445,000円	75,000円	
令和2年1月	1,520,000円	1,745,000円	▲225,000円	機械の故障による修繕費として30万円の臨時支出
令和2年2月	1,520,000円	1,445,000円	75,000円	
令和2年3月	1,520,000円	1,445,000円	75,000円	
令和2年4月	1,520,000円	1,445,000円	75,000円	

【備考】

5 財産等の状況

(1) 売掛金・貸付金等の状況

売掛先等の名称・住所	売掛金等の額	回収予定日	種類	回収方法
A建築株式会社 〇〇市△△町×-×-×	500,000円	令和2・6・30	売掛金	振込み
有限会社〇〇工務店 〇〇市△△町×-×-×	180,000円	令和2・7・31	売掛金	小切手
株式会社××ホーム 〇〇市△△町×-×-×	50,000円	令和2・8・31	売掛金	現金

(2) その他の財産の状況

不動産等	資材置き場用土地 (〇〇市△△町××)	国債・株式等	△△株式会社 (関連会社) 未上場株式1株
車両	業務用車両1台 (ミニバン、△△330あ〇〇〇〇、ローン有)	その他 (保険等)	〇〇生命保険

(3) 借入金・買掛金の状況

借入先等の名称	借入金等の金額	月額返済額	返済終了(支払)年月	追加借入の可否	担保提供財産等
〇〇リース	800,000円	15,000円	令和6年3月	可・否	
〇〇銀行 △△支店	9,600,000円	80,000円	令和11年5月	可・否	資材置き場用土地 (〇〇市△△町××)

※ 各欄に記載しきれない場合は、適宜の用紙に記載して提出してください。

## ① 「2 現在納付可能資金額」欄

この欄では、申請書を提出する日現在において、直ちに納付することができる金額を計算します。

- ① 「現金及び預貯金等」欄に、申請書を提出する日現在の預貯金等がある金融機関等の名称・支店名、上場株式などの売却が容易な財産の名称・数量を記載します。
- ② 「預貯金等の種類」欄には、預貯金について、普通、当座、定期、貯蓄等の種類を記載します。
- ③ 「預貯金等の額」欄には、申請書を提出する日現在の自宅や事務所等に保管している手持ち現金の金額及び預貯金等の金額を記載します。
- ④ 「納付可能金額」欄には、納付することができる金額を記載します。
- ⑤ 「納付に充てられない事情」欄には、預貯金等の額のうち、納付できない事情がある場合に、当てはまる事情にチェック (b) を付けます。
- ⑥ 「現在納付可能資金額」欄には、「納付可能金額」欄の合計額を記載します。  
「現在納付可能資金額」欄の金額は、直ちに納付に充てることができる金額であるため、できるだけ速やかに納付してください。  
なお、納付がない場合は、猶予が不許可となることがありますので、ご注意ください。

## ② 「3 今後の平均的な収入及び支出の見込金額（月額）」欄

猶予期間中における月単位の平均的な収入及び支出の見込金額を記載します。

- ① 「収入欄」  
売上収入その他の経常的な収入をすべて記載します。  
(納税者が個人の場合には、給与収入や報酬も含めて記載します。)
- ② 「支出欄」
  - ア 事業に係る支出  
仕入、給与・役員給与（人件費）、経費、家賃等、借入返済その他の支出を記載します。  
なお、これらの支出は、事業の継続のために真に必要と認められるものに限られるため、例えば次に掲げるようなものは認められないことに留意してください。
    - ・ 不要不急の財産の取得のための支出
    - ・ 期限の定めのない債務の弁済のための支出
  - イ 生活費（納税者が個人の場合のみ）  
納税者及び納税者と生計を一にする配偶者その他の親族の生活費として、実際に支払った食費、光熱水費、通信費、家賃等、借入返済その他の支出を記載します。

## ③ 「4 直前1年間における各月の収入及び支出の状況」欄

申請書を提出する日の直前1年間における各月ごとの「①総収入金額」、「②総支出金額」及び「③差額（①－②）」を記載します。

また、「③差額（①－②）」欄の金額がマイナスの時は、金額の前に「▲」を付けます。  
なお、臨時的な収入や支出があった月については、「備考」欄にその理由を記載します。

## ④ 「5 財産等の状況」欄

- ① 「(1) 売掛金・貸付金等の状況」欄  
売掛金・貸付金等について、売掛先等の名称、住所、金額、回収予定日（手形の場合は支払期日）、種類及び回収方法を記載します。
  - ア 「種類」欄には、売掛金、貸付金、未収金等の種類を記載します。
  - イ 「回収方法」欄には、現金、振込み、手形、小切手等の回収方法を記載します。
- ② 「(2) その他の財産の状況」欄  
不動産、国債・株式等の有価証券及び車両など、所有している財産の種類、数量、所在地等を記載します。また、「その他（保険等）」欄には、敷金、保証金、保険等の財産を記載します。
- ③ 「(3) 借入金・買掛金等の状況」欄
  - ア 「月額返済額」欄には、毎月の平均的な返済額を記載します。
  - イ 「返済終了（支払）年月」欄には、借入金の返済が終了する、又は買掛金等を支払う年月を記載します。
  - ウ 「追加借入の可否」欄には、借入の枠が残っているなど、追加借入ができる場合は「可」に、できない場合は「否」に○印を付けます。
  - エ 「担保提供財産等」欄には、借入等のために抵当権を設定しているものなど、担保として提供している財産等を記載します。